

## これから必要とされる 「木造大工技能者」とは？

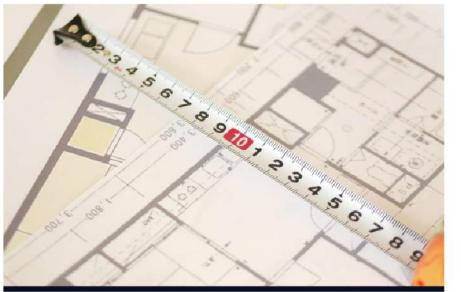
近年、住宅はもちろん、公共施設や高層ビルの新規建設において、木造建築の需要が高まっています。また既存の建物は木造建築物も多く、修繕や改修を行うためには木造大工の知識・技術が不可欠です。家大工職人はもちろん、建築や建設関連の企業でも、図面設計から現場監督までを任せられるような木造大工技能者として、知識と技術両方を備えたプロフェッショナル人材が必要とされています。

### 講座の一例



参加者で実際に  
平屋を一棟建てます

現役大工のプロ集団が、家づくりの0から10までを、実践の中で直伝します。図面の見方、使用する道具の種類や重機、手順、安全面への考慮など、建物が一棟建つまでの一連の流れを学びながら、最終的に自分達の力で家を建てます。座学や部分的な実習だけでは掴めない、家づくりの現場を擬似体験することができます。



キャリアパスシートで  
キャリア形成を考えます

「広げる型」「深める型」の2種類のキャリアパスについて受講生が自ら考え、キャリアパスシートを作成します。キャリアパスとは仕事に対する自身の目的や身に着けるべきスキルを明確にし、最終的な目標を定め進んでいくための道筋をいいます。また木が木材として加工されるまでの製材の過程を見学します。家づくりの最も川上にある、林業や製材の現場を学びます。



製材山林現場講習で  
知識・プロセスを学びます

お客様のニーズに応える家を作るには、木材の種類や質を目利きできることも大切です。良質な木が育つための気候条件や環境、切り出し、木の部位ごとの特徴などを、山林に出向いて学びます。また木が木材として加工されるまでの製材の過程を見学します。家づくりの最も川上にある、林業や製材の現場を学びます。

### カリキュラムスケジュール

受講時間 9:00～16:00（休憩1時間）※講座により変更となる場合がございます。

回数	日程	曜日	内容
1	8月29日	土	入塾式 オリエンテーション/安全衛生
2	8月30日	日	安全衛生
3	9月5日	土	現場見学
4	9月6日	日	大工技能者の心得
5	9月12日	土	手板書き①
6	9月13日	日	講話
7	9月19日	土	墨付け①
8	9月20日	日	刻み①
9	9月21日	月	墨付け②
10	9月22日	火	刻み②
11	9月26日	土	墨付け③
12	9月27日	日	刻み③
13	10月3日	土	製材山林現場講習会
14	10月10日	土	測量①
15	10月11日	日	測量②
16	10月17日	土	電動工具取扱い
17	10月18日	日	重機①
18	10月24日	土	重機②
19	10月25日	日	重機③
20	10月31日	土	製材山林現場講習会

回数	日程	曜日	内容
21	11月7日	土	足場組立て①
22	11月8日	日	足場組立て②
23	11月14日	土	型枠・鉄筋
24	11月21日	土	建て方①
25	11月22日	日	建て方②
26	11月23日	月	建て方③
27	11月28日	土	講話
28	11月29日	日	木工事①
29	12月5日	土	木工事②
30	12月6日	日	木工事③
31	12月12日	土	木工事④
32	12月13日	日	木工事⑤
33	12月19日	土	講話
34	1月9日	土	木工事⑥
35	1月10日	日	木工事⑦
36	1月16日	土	木工事⑧
37	1月17日	日	木工事⑨
38	1月23日	土	木工事⑩
39	1月24日	日	木工事⑪
40	2月6日	土	終業式

## 現代住宅の 全てを学ぶ。



資格取得に繋がる  
知識・経験が  
得られます！

※本講座での資格取得は出来ません

### — 大工工事

支柱や外壁などの構造部分をつくる「大工工事」、コンクリートで建物を造る際に、コンクリートを流し込むための枠を作る「型枠工事」、天井・床板・階段などを取り付け建物の内部を仕上げる「造作工事」を実践の中で学べます。

### — 工事現場で使用する重機・電動工具

ノミやノコギリといった昔ながらの大工道具だけではなく、丸のこ、グラインダー、小型移動式クレーン、掘削用小型車両系など、工事現場で使用する様々な電気工具や重機を使って学ぶことができます。

### — 住宅建築の基礎工事～仕上げまで

図面の見方から墨付け、刻み、測量、重機の取扱い、足場組立、基礎工事、平屋の建て方実践、棟上げまで、家が一軒建つまでの一連のプロセスを習得することができます。

#### 大学教授



大学教授

有川 智 ありかわ さとし

これからの日本の住宅に求められる省エネ化・長寿命化を推進し、良質なストック形成を支える新たな住宅産業の担い手として、皆さんの力が必要です。3K（きつい・危険・汚い）といわれた建設業界においても新3K（高給与・休暇・希望）を謳った働き方改革が進行中です。「一棟司塾」は、大工職人・技能者の減少・高齢化が進む中、我が国の木造住宅を担う人材の育成を図るために国土交通省が実施する「木造住宅・都市木造建築物における生産体制整備事業」の一環として行なわれます。地域に根差した大工を目指す皆さんの参加、活躍を期待しています。

一般社団法人東北建設技能協会  
理事長



澤口 将司 さわぐち しょうじ

皆さんはこれからの大工技能者には何が必要だと思われますか？「職人の技」、確かにこれは必要です。「資格」も絶対に必要です。しかし一番大事なのは、自分自身で「大工技能者として一人前になるんだ！」「絶対にできる！」という気持ちです。

近年、木造大工技能を習得する授業が各地で開催され、建設業未経験の方々が数多く就業しております。私たち講師陣はそれを全力でお手伝いいたします。趣味も仕事も楽しくなければなりませんよね？私の信念は、「楽しくなければ授業じゃない！」是非当講座に参加いただき、スキルアップを目指してください。

#### 一般社団法人東北建設技能協会 理事



高橋 渉 たかはし わたる

このプログラムで目指す大工の理想像は、現代建築版の「棟梁」です。単に職人を取り纏める親分のような「頭領」ではなく、建築の基礎から仕上げまで、全ての工程を司る現場の最高責任者としての「棟梁」です。その役割を現代風に例えると、営業・設計・施工管理・マネジメント等の実務に加え、職人の人材育成から自立支援までを担います。「棟梁」を育む第一歩として、建築に関わる全ての工程を把握する必要があります。一棟司塾は実際の建築現場を忠実に再現し、全ての工程を実習できる「棟梁」育成プログラムです。

一般社団法人東北建設技能協会  
理事



田中 満 たなか みつる

「体を使う仕事が好きだ！」単純なきっかけで建設業の世界に足を踏み入れ20年。建物を造ったり直したりする仕事に数多く携わる中、建設物の魅力や可能性に一層のめり込む日々を送っています。一方、労働災害とは一生向き合う必要があります。令和元年の建設業における死亡災害は269人、前年比13%減少傾向にあるものの「墜落・転落」災害が依然40%を占め、災害撲滅の動きを強めなければなりません。当講座では足場組立等も含め、高所作業時の危機意識も身に付けて頂きたいです。建物を造る喜びに災害ゼロを加え、今後の業界発展に取り組んで参る所存です。

#### 一般社団法人東北建設技能協会 理事



石井 浩一 いしい こういち

みなさん「大工」というどんな職業を思い浮かべますか？多くの方は「金槌や鋸」を使って家を組み立てる職人さんの姿を思い浮かべるのではないでしょうか。それも間違いではないでしょう。しかし現代の家は本当に「金槌や鋸」だけで建ちますか？そんな思いを胸に近年の建築現場で通用する大工を育てよう立ち上がった業界関係者たちが、現場で培った経験を基に「家づくりの0から10まで」を伝えたい。そんな思いの詰まった講座です。

高橋 哲介 たかはし ようすけ



日本の住宅において約6割が木造住宅です。非住宅分野（商業施設・公共施設・保育施設等）の木造化も増加傾向になる中、大工技能者の担い手が急務にあります。しかし地域材活用と職人不足、特に大工技能者の不足が深刻化しています。山林伐採から建築まで木造住宅に従事することの楽しさ、地域の木材のカスケード利用を伝えます。

